

語り合う

生命誌の広場

中村桂子の
ちょっと一言

ラボ日記

表現スタッフ日記

さまざまな交流

生命誌のこれからを
考える

生命誌の広場

テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」
- 研究について
- 季刊「生命誌」
- 展示・映像
- その他

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

最新のお返事

- 2019年10月02日
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日
[原爆について](#)
- 2019年09月05日
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日
[この夏一番元気だったものは？](#)

最新のご意見

- 2019年09月27日
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日
[原爆について](#)
- 2019年09月05日
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日
[この夏一番元気だったものは？](#)

過去の書き込み

2019年 10月
GO

みなさんからのご意見

季刊「生命誌」

季刊生命誌84号感想

投稿日：2015.06.25 名前：BRHカード読者Sさん

拝啓 季刊生命誌をいつも拝見させて頂き誠に有り難うございます。
貴誌84号、巨大ウイルスから見える新たな生物界から見える新たな生物界は驚きの連続でした。ミミウィルスのgenomeの構成、ウイルスに寄生する「核酸」etc 無限の興味があります。共進化の原点と考えます。

お返事

投稿日：2015.06.25 名前：中村桂子館長

最近のウイルス研究は次々と興味深いことを明らかにしていますね。一方で、私たちのゲノムの中に入り込んでいるウイルスDNAのはたらきもわかり始めていますし、生命誌としてはウイルスの位置づけをよく考えなければなくなっています。生きものは絶えず難題をつきつけてきます。そこが面白いのですけど。

中村桂子の「ちょっと一言」

紛争と共生

投稿日：2015.06.15 名前：足立隼

紛争に関しては、法・政治で社会を統制しておくことは確かに対症療法にはなりますが、紛争の種を根本的に無くすには下世話ながらやはり経済的な安定性が欠かせないと思います。それは発展途上国でも先進国の格差でも同じように思います。精神論のみで国が長期的に豊かになった歴史的事例はありませんし、特定の精神を強要することは思想の多様性を少なくしてしまうと思います。ところで今の日本政府は自然淘汰的に競争を煽る経済学的にも論理的にも誤った優生論を持っているように見えなくもないですが、そうでなくてそれほど厳しくないある社会条件の下では共生の方がより適応的になるという、ここ半世紀あまりの社会生物学の成果も少しは考慮されるべきでしょう。競争というのはある意味終わりのない争いなので。人間と他の生物は違うという人もいますが、数学のような抽象的な論理に落とし込めばそれは種によらない普遍性を持つ場合も多いので、かなりオーバーラップする部分もある筈です。優生論が再びブームを迎えそうな事態を危惧していますので、それに対して科学の立場から箴言が出来ればと思います。

お返事

投稿日：2015.06.22 名前：中村桂子館長

「人間は生きものである」という基本の中で、人間らしさを考えていくのはとても面倒なことであり、じっくり考えるしかないと思っています。強さを求めて紛争や不要の競争をするのは好きではありません。その気持は生きものに接するところから生れていると思いますので、生命誌研究と発信というささやかな活動が少しでも意味をもつようにと願っています。

新着情報

- [10月19日生命誌オープンラボ \(19.10.01\)](#)
- [10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会\(19.10.01\)](#)
- [昆虫脳の標本展示が登場！\(19.10.01\)](#)
- [パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始\(19.10.01\)](#)
- [あくあびあ芥川とスタンプリリー開催\(19.10.01\)](#)



JT生命誌研究館
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 TEL:072-681-9750 (代) FAX:072-681-9743

copyright © JT Biohistory Research Hall 2012.